

幼児期における異文化理解教育に関する一考察 —オーストリアの絵本の読み聞かせと遊びの実践例から—

蘆田智絵 (初等教育学科)、マウトナー エファ (グラーツ医科大学)

Intercultural Exchange in Early Childhood: Presenting Picture Books and Games from Austria

ASHIDA, Chie (Department of Elementary Education) and
MAUTNER, Eva (Medical University of Graz)

要約 本研究では、オーストリアの絵本の読み聞かせと遊びの実践を通して、幼児期における異文化理解教育のあり方について考察した。近年、社会の国際化により、幼児期からの異文化理解教育の重要性が指摘されている。本研究では、英語等の言語教育ではなく、異文化に親しむことを目的としてオーストリア人講師と幼児との異文化理解教育の実践を行った。オーストリアの母国語であるドイツ語という英語以外の外国語に触れることや、オーストリアの子どもが実際に遊んでいる遊びを体験することで、子どもたちは、初めは全く知らない国名や言語に戸惑いがみられたが、次第にオーストリア人講師との交流を楽しみ積極的にかかわる様子が見られた。幼児期における異文化理解教育は、異文化に対する好意的な感情を喚起することにつながる。これは異文化への肯定的な価値観をもつための基盤となるものとして重要であると考えられる。

キーワード (異文化理解教育、幼児、オーストリア)